

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500188
法人名	株式会社お茶屋の里
事業所名	グループホームはなれ茶屋
所在地	愛媛県新居浜市西の土居町二丁目8番21号
自己評価作成日	平成23年10月13日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の笑顔が絶えない生活を送れるように、職員一同努めています。利用者が一日中ホームだけで過ごす事がないよう、出来る限り外に出掛けるように支援をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

法人の会長の自宅だった場所に開設したグループホームで、お庭は風情のある日本庭園で、調査訪問時にはもみじも色づき始めており、季節それぞれに楽しめる。玄関にはいすを置いて、利用者が座ってくつの着脱ができるようにされている。職員手作りの木工にステンシルでイレ、ユニット入り口・居室入口の表札を作っておられたり、又、風呂敷の柄を活かしたキルトのタペストリーを各所に飾っておられる。

「帰りたい」という気持ちになることが度々みられる利用者には、利用者の生活の様子等もみながら、就寝までに、だんだん明りを落とす等して雰囲気作りをして「生活のリズム」を整える等しながら支援されて、穏やかに生活ができるよう支援されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等がサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームはなれ茶屋

(ユニット名) すずらん

記入者(管理者)

氏名 藤田 智子

評価完了日 平成 23 年 10 月 13 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 玄関等の入り口に理念を掲げ、いつも目につくようにしている。 毎日、朝礼でも唱和している。	
			(外部評価) 事業所開設時に管理者は、「笑顔 誠実 ふれあい」と、事業所理念を作成され、事務室等に掲示されており、朝礼時に唱和されている。日々のケアの中の場面を捉えて、管理者は、職員に理念に沿ってアドバイスをされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 散歩等に出掛けた時は必ず挨拶をしている。又、夕涼み会や他の催しの際には、地域の方に参加して頂けるよう、声をかけ、参加して頂いている。 地域の行事にはあまり参加出来ていないので、積極的に参加していきたい。	
			(外部評価) 散歩中に老人会の方達が花の苗をくださり、事業所でも大事に育てられました。又、散歩中に知り合いになった近所の方が、「自宅にちぎり絵を見に来ないか」と誘ってくださり、近々、うかがう予定である。さらに、事業所にも来ていただき、ちぎり絵を教えていただきたいと考えておられた。中学生の合唱部が来てくれて合唱を披露してくれた際には、事前に近所の方にもチラシを配って案内されて、数名の近所の方が来られて、一緒に楽しまれた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議等で、地域の方に情報交換を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	運営推進会議では、ホームでの取組み等を報告し、アドバイスを頂いている。	
			(外部評価)		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	2ヶ月に1回、運営推進会議に参加、協力を頂いている。	
			(外部評価)		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	身体拘束をしないケアに努めているが、職員全員が正しい理解をしているとは言えない。研修等で、理解するように取り組んでいる。玄関は、夜間以外は施錠していない。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会等にも参加し、ユニット会でも話し合いをしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者、一部職員は勉強会に参加し、学ぶ機会を得ている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際、契約の説明を家族に行い、理解が得られたか確認している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族さんとは、面会時等にコミュニケーションを図り、気軽に要望を言ってもらうように努め、又、職員からも意見・要望が無いが確認している。 玄関に意見箱を設置している。	
			(外部評価) 管理者は、ご家族の立場に立って、ご家族に安心してもらえるような報告や連絡に心がけ、信頼関係作りに取り組んでおられる。玄関を入った場所には、最近の様子を写した写真が掲示されており、ご家族に利用者の最新の様子が分かるようにされている。事業所便りには「お知らせ欄」を設けてご家族に向けたお知らせを載せておられ、季節の変わり目には、早めに衣類や寝具等の準備をお願いする等、ご家族が心配されるようなことは早めに伝えるように配慮をされている。現在、イベントと合わせて家族会を行っておられ、ご家族同士の親睦を深められるよう取り組んでおられるが、今後は、家族会の内容を工夫して、事業所のサービスについて具体的に意見や要望を引き出していかれてはどうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月に1回のユニット会に、管理者やリーダーが参加して、運営やスキルアップに関する職員の意見を聞く機会がある。	
			(外部評価)	
			職員のアイデアで、洗面所に炊飯器を設置して、お湯を保温しておき、清拭時、温かい布を使用できるようにされている。日々の申し送り時には、職員が実践しているケアのアイデアを出し合っており、職員個々が対応のヒントにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者はリーダー会等で状況を把握し、個々からも話を聞いている。職場の環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			東予・中予地区の研修に参加出来るように、調整をしている。又、資格取得の支援をしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			東予・中予地区の研修に参加して、同業者と交流する事で、サービスの質の向上に繋げている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			事前に利用者本人と面会して話をする機会を作り、本人の思いや要望の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>事前に家族さんとも面会する時間を設けて、困っている事、不安や要望の把握に努めている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>相談を受けた場合には、当グループホームのサービスが本人にとって適切か、又、他のサービス利用が相応しいかを相談している。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>手作りクッキングや掃除、洗濯干しや片付け等を通して、共に暮らしをする者同士の関係を築いている。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>家族さんからの相談や面会時には、個々の担当者が誠意を持って対応している。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>敬老の日・夕涼み会等の催しには、家族さんと相談の上で参加して頂いたり、正月や祭りには外出や外泊を気軽に申し出て頂けるよう努めている。</p>
			(外部評価)	
			<p>ご自宅の近所の方が別ユニットに入居されているような利用者もあり、時々会いに行っておしゃべりを楽しまれている。職員は、利用者が知り合いの方と電話できるよう取り次いだり、ご夫婦で入居されている方には、夫婦で過ごす時間を大切に支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			利用者の状況を把握し、職員が間に入ったりし、孤立しないよう声かけ、寄添ったりしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			退所されてしまうと、関係が途切れてしまうのが現状である。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			利用者職員が1対1の場合に本音が聞かれるので、場を設けるよう、ドライブや散歩等の時間を作るように努めている。何気ない言葉も気に留め、職員で情報交換・検討している。	
			(外部評価)	
		入居時、ご家族に利用者ご本人の生活歴やこれまでの暮らしの様子をお聞きしてまとめておられる。入居後は、入浴や散歩の際等、職員は利用者1対1になるような時等を捉えて、思っておられるようなことを聞き取るようにされている。	日々の中でも利用者の状態に合わせて選んだり決めたりできるような場面を作ったりしながら、意思表示が難しいような利用者についても情報を集めて、思いや意向を探り、利用者主体の支援につなげていかれてほしい。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			入居時に、本人・家族・担当ケアマネから情報を得るようにしている。普段の生活の中でも、情報を得るようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			入居時に本人・家族さんから情報を得、普段の生活からも状態の把握に職員で話し合いをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			利用者の現状や課題を職員で話し合い、家族さんとも相談を行い、介護計画を作成している。	
			(外部評価)	
			3ヶ月ごとに介護計画を見直しておられる。見直し前には、ご家族にもできるだけ出席いただき、担当者会議を行い、モニタリング・評価を行っておられる。「帰りたい」という気持ちになることが度々みられる利用者には、利用者の生活の様子等もみながら、就寝までに、だんだん明りを落とす等して雰囲気作りをして「生活のリズム」を整える等しながら支援されて、穏やかに生活ができるよう支援されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			利用者の状況を分かり易くするために、一覧表を作り、職員が情報を共有出来るようにしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族との連絡を密にし、その時々生まれるニーズに対応出来るようにしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			市内中学校の合唱団に来ていただき敬老会で歌って貰ったり、その他の音楽やダンスなどのレクリエーションに多くのボランティアに参加して貰っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に、本人・家族が希望するかかりつけ医を確認している。 2週間に1度協力医の往診があり、本人や家族の希望、本人の状態を職員が付添い、伝えている。	
			(外部評価) 協力医の往診があり、いざという時にも来てくださるようになっていて、利用者の状態で点滴が必要になる場合には、ご家族に付き添いをお願いするようなこともあり、ご家族と協力し合って支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 当ホームには看護師が在籍していないので、日々利用者との関係を大事にし、体調の変化に気をつけている。 職員は、協力医に状態を相談し、受診・服薬等の支援を行っている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 病院関係者と情報交換を行っている。本人・家族さんが安心出来るよう、様子を見に行き、状態を確認している。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合、協力医や家族さんとも相談し、今後のあり方について話し合いを行っているが、早い段階からは出来ていない。	
			(外部評価) 現在、他の介護施設へ申し込みをしているご家族もあり、事業所では、看とりを支援する体制には至っておられないが、今後、法人では医療連携体制について検討をされており、事業所では、利用者、ご家族の看とり支援についての希望等も聞き取りながら支援につなげていくことも考えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会等に参加して知識を身につけるようにしているが、すべての職員が参加出来ていない。 訓練や事故発生時の対応をマニュアル化して、日頃から目を通すようにしています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災マニュアルを作っている。訓練については、10/12には台所からの出火による火災における避難訓練を消防署立会いの下行った。災害訓練は9/30地域の小学校の防災訓練に参加した。	さらに今後は、時間帯や利用者の状態、職員の体制等、いろいろな場面を想定して訓練を重ねていかれてほしい。すべての職員が利用者を安全に避難させることができるよう方法を検討されたり、地域との相互協力体制作りにも取り組んでいかれてほしい。
			(外部評価) 職員は、系列グループホームの職員とともに小学校で行われた地区の防災訓練に参加され、土のう作りを体験されたり、煙が舞っている場所から避難するような体験をされた。又、事業所での避難訓練には、昼間の火災を想定して行われ、消防署の協力も得て消火器の使い方を習ったりした。事業所は平屋で、又、近くに川があるようなことから災害時等に「建物内に居る方が安全である」と、消防署からアドバイスをいただいたようだ。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の人格を大切に、日頃からの声かけ・コミュニケーションを大事にしています。	職員が発する言葉について、利用者やご家族の立場から点検するような機会を作ってはどうだろうか。「利用者・ご家族は、どのように感じるか」「どのような言葉かけが適切か」話し合いを繰り返して職員のスキルアップを図り、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。
			(外部評価) 職員は、利用者の言葉や行動を否定せず、話をよく聞くことに心がけておられるが、時に、職員のペースで利用者に対応しているような場面や気になるような言葉かけもみられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何かをする前に説明して、同意を得て支援しています。又、利用者に応じて、表現し易い声かけを行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にしているが、入居者の体調不良 や複数の介助が必要な時は職員側のペースで進めることが 多い。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 出来ない人には職員がその人らしいコーディネートを選んで いる。お化粧をされる人には本人の希望もあり、職員がアド バイス、手伝いをしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事を共にし、盛り付けや片付けも一緒に行っている。	
			(外部評価) 法人の厨房から食事が届くようになっており、事業所でうつ わを選んで盛り付けをされている。職員も利用者と一緒に同 じものを食べておられ、月に1回の食事検討委員会で感想を 出すようになってい。月1回は、手作りクッキングの日が設 けられており、利用者の希望を採り入れて、今月はいも炊き を作られた。祭りの日はバイキング形式の食事が厨房から届 き、利用者にはお寿司が人気だったようだ。入居時、食べ物 に好き嫌いのある利用者もおられ、ご本人用に事業所で食 事を作っておられたが、事業所の味付け等に慣れて来られ て、現在は皆と同じものを食べておられる。さらに、事業所の 食事支援については、利用者がさらに食事を楽しめるよう に、利用者の好みを反映するような日を増やされたり、ご家 族にも食事への希望や要望を具体的にお聞きしてみるよう な機会を設けてみてはどうだろうか。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量を記録し、不足している利用者には本人が 好きな物や、時間をおき勧めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 利用者に応じて口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄の記録をつけ、一人ひとりの体調やパターンを職員が把握し、トイレで排泄が出来るように支援しています。	
			(外部評価)	
			昼食後、歯磨きの後にトイレに誘導されたり、夜間はおむつを使用している利用者も日中はトイレにお連れしてトイレで排泄できるよう取り組んでおられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者の状況に合わせ、食後にトイレ誘導を行っている。水分不足にならないよう注意し、運動等の働きかけをしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			本人の希望に合わせて入浴の支援を行っているが、職員側の都合に合わせることがある。	
			(外部評価)	
			入浴について、同性介助を希望する利用者には応じておられる。お一人で入りたいと希望される利用者には、職員が脱衣所で見守る等して支援されている。浴槽をまたぐことが難しいような利用者には、職員が2名で介助して、浴槽で温まれるように支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			体調やその時々状況に応じて、居室や畳間等で休んでもらっている。夜間、居室では寂しく不安をもっている利用者には、職員が見える畳間で休んでもらい、安心して眠られている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	処方箋等で確認している。利用者に合わせ服薬の支援を行い、症状の変化に気をつけている。
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	生活歴等を考慮し、日々役割を持って過ごせるよう支援している。買物を楽しみにしている利用者には職員が同行している。
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	天気が良い日には散歩に出掛けたり、ドライブに出掛けたいと思っている。家族さんにも協力を得て外食等の機会を増やしたいと思っている。
			(外部評価)	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	利用者の能力に応じてお金を持ってもらい、職員が同行し買物に行っている。又、普段のおやつも職員と買物に行っている。
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	相手からかかってくることはあるが、利用者本人からの希望もないので、来ていないのが現状である。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>音や温度等、不快感がないように配慮し、フロアには季節の花を飾り、季節感を少しでも味わってもらえるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人の会長の自宅だった場所に開設したグループホームで、お庭は風情のある日本庭園で、調査訪問時にはもみじも色づき始めており、季節それぞれに楽しめる。玄関にはいすを置いて、利用者が座ってくつの着脱ができるようにされている。職員手作りの木工にステンシルでトイレ、ユニット入り口・居室入口の表札を作っておられたり、又、風呂敷の柄を活かしたキルトのタペストリーを各所に飾っておられる。居間の天窓は、ロールカーテンで光の調節をされていた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファや畳の間を利用し、テレビを見て貰ったり、ゆっくり過ごしてもらっているようにしている。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れた家具等を置き、使い易いように配置している。写真を飾ったりし、利用者が安心して過ごせるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所のパンフレットにも、馴染みのものを持ち込んでいただけよう記載されている。居室には、温度計を設置しておられ、冷暖房等の目安にされている。事業所では小さな掃除機を用意されており、利用者と一緒に掃除を行えるよう支援されている。入口の戸が少し開いている方が安心な方は、ご自分がかまぼこ板を置いて、少し戸を透かしておられた。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下等に物を置かないようにし、安全に移動出来るようにしている。トイレには表札をつけている。</p>	